



INDEX

会長挨拶、学長挨拶、役員名簿	P2
岩手大学の主な取組	P3
同窓会連合の活動状況	P4~5
各同窓会の活動状況	P6~7
岩手大学の情報	P8

岩手大学同窓会連合会長挨拶

会長 渡邊 喬



同窓生のみなさまにおかれましては、同窓会連合の活動にご理解いただき誠にありがとうございます。

さて、2008年に大学主催行事として始まり、2010年度より大学と同窓会連合との共催行事と位置付けて開催されて参りました「卒業生・修了生と学長との懇談会」は、2018年7月28日の開催をもって11回目となりました。今回は、5年ぶりに2回目となる東京で開催しました。当日は、あいにくの台風でしたが、60名を超える同窓生にご参加いただき、学長はじめ理事、各学部長から大学の様子をお伺いするとともに、学部の垣根を越えて同

窓生の絆を深めて頂く機会となりました。

2019年度は、岩手大学が1949年新制国立大学として発足してから創立70周年を迎えます。大学では創立70周年記念事業として秋頃に様々な企画を計画していると聞いております。久し振りにみなさまお誘いあわせの上、大学で学生時代を懐かしみ、楽しみませんか。

今後も同窓会連合は、会員相互の交流と親睦、そして岩手大学の発展に貢献するために活動して参ります。引き続き、同窓生のみなさまの同窓会連合活動へのご協力を切にお願い申し上げます。

岩手大学長挨拶

学長 岩淵 明



本学は、1949年6月に新製の国立大学として誕生し、2019年創立70周年を迎えます。2004年には国立大学法人に移行し、『岩手の“大地”と“ひと”と共に』を校是に、人材育成を重視し、地域に開かれた大学づくりを目指してきました。現在も校是と、第3期中期目標・中期計画期間のキーワード「グローバルな大学」「復興活動の継続」「アイデンティティの涵養」を掲げ地域を先導する大学を目指し、学生と教職員が一体となって改革を進めています。

2018年7月末には東京で「卒業生・修了生と学長との懇談会」を開催し、同窓生のみなさまからご意見をいただきました。また留学生同窓会を中

国・モンゴルの3ヶ所に立ち上げてもらいました。

創立70周年を記念し、記念事業としてこれまでの復興活動をまとめた記録誌をはじめとして、2019年10月の不来方祭の時期に様々な企画を計画し準備を進めていますので、卒業生・修了生のみなさまはぜひご参加ください。また、国立大学をめぐる環境は年々厳しさを増していることから、卒業生・修了生のみなさまにはイーハトーヴ基金への募金をはじめとして大学に対して様々な形でご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

岩手大学同窓会連合役員名簿 (2018年12月現在)

【役員】

役職	氏名	職名等
会長	渡邊 喬	(一祐会顧問)
副会長	遠藤 隆	七友会会長
	小笠原義文	北桐会会長
	清水 健司	一祐会会長
	鈴木 幸一	北水会会長
監事	吉田 真二	七友会
	藁谷 収	北桐会

【理事会理事】

職名等	氏名	
会長	渡邊 喬	
副会長	(七友会会長)	遠藤 隆
	(北桐会会長)	小笠原義文
	(一祐会会長)	清水 健司
	(北水会会長)	鈴木 幸一
各同窓会理事	七友会	鈴木 護
	北桐会	藁谷 収
	一祐会	平原 英俊

職名等	氏名
各同窓会理事	北水会 倉島 栄一
岩手大学学長	岩淵 明
〃 理事・副学長	小川 智
〃 人文社会科学部長	横山 英信
〃 教育学部長	遠藤 孝夫
〃 理工学部長	船崎 健一
〃 農学部長	高畑 義人

2018年岩手大学の主な取組



2018.3.1 岩手大学・岩手銀行保育所開園

岩手大学・岩手銀行保育所（愛称：がんちゃんすくすく保育園）が開園しました。国立大学と民間企業が国の企業主導型保育事業を活用し開設する事業所内保育所としては、全国で初めての試みです。保育所は0歳から小学校就学前までを対象とし、岩手大学と岩手銀行の職員のほか、学生の子どもも利用することができます。

2018.5.18 銀河オープンラボ開所

事業化可能性の高いシーズを軸に、参画企業と研究開発から実証まで行う拠点として銀河オープンラボを設置しました。現在、分子接合技術、視覚再建技術、RSPによる地域基幹産業の革新の3つの研究設備を設置しています。



2018.7.17～7.19 国際防災・危機管理研究岩手会議開催

盛岡市のいわて県民情報交流センターを会場に「国際防災・危機管理研究岩手会議」を開催しました。同会議は、岩手大学地域防災研究センター、清華大学公共管理学院危機管理研究センター、ハーバード大学ケネディスクール危機対応リーダーシッププログラムを主催として、東日本大震災後岩手県で初となる防災に関する国際会議で、米国・中国・日本等世界の防災、危機管理に関する専門家が集まり、大規模災害の様相、緊急対応、地域力など地域復興に関する各国の知見や成果を発表、共有するとともに、広く国内外にむけて東日本大震災を経験した岩手からの発信をテーマに開催し、16カ国から515名が参加し大盛会でした。

2018.7.25 NTTドコモと連携協定締結

岩手大学と株式会社NTTドコモは、5Gや各種ICTツール・サービス等を活用し、地場産業の活性化等を通じた地域創生に資する技術開発やICTなどに係る人材育成の推進を目的とした、様々な分野の取組を相互に連携・協力し推進するための連携協定を締結しました。



2018.7.30 次世代アグリイノベーション研究センター開所

岩手大学のこれまでの強み・特色となる農学分野の基盤研究をさらに発展・活用し、グローバルな環境変動や農業が直面している諸課題に対応する次世代農業のイノベーションを先導する基盤・応用研究拠点の構築を目指すこと、かつ、岩手大学における教育研究の進展に寄与するとともに、その研究成果を基に地域振興を図ることを目的として次世代アグリイノベーション研究センターを設置しました。

2018.10.1 釜石キャンパス 学部学生教育・研究開始

農学部食料生産環境学科水産システム学コース3年生14名が釜石キャンパスで教育・研究活動を開始しました。三陸を見つめながら、グローバルな視点で水産・海洋問題を解決できる人材を育成します。現在釜石キャンパス内に教育棟を建設中で2019年3月末竣工予定です。



2017年度事業報告について

1. 理事会の開催

- 第17回：2017年5月18日（木）
 議題1. 2016年度事業報告について
 2. 2016年度決算について
 3. 2017年度事業計画について
 4. 2017年度予算について
 5. 次期会長等の選出について など
 第18回：2018年1月16日（火）
 議題1. 卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）の開催について

2. 運営委員会の開催

計2回開催（2017年4月20日（木）、2017年9月25日（月））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第10回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会及び懇親交流会を開催した。
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換など
 日時：2017年7月22日（土） 15時～
 開催場所：仙台ガーデンパレス（宮城県仙台市）
 参加者：100名

4. 会報の発行

2017年12月 第9号発行
 （掲載内容）：岩手大学の大学院改組の状況、2016年度事業報告、卒業生・修了生と学長との懇談会（第10回）の報告、各同窓会の情報、大学の情報など

5. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を行った。

【主な放送内容】

研究室紹介、運動部の活躍、大学行事の紹介 など

【放送日時等】

2017年10月3日（火）～2017年12月26日（火）
 毎週火曜日／18：55～（3分間） 計13回放送
 （同日再放送 24：55～（3分間））

- 2018年1月28日（日） 特別版（1時間）放送
 6. 岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ
 在学生を支援する基金「イーハトーヴ基金」に対する協力呼びかけをホームページ、同窓会連合会報で行った。
 7. 卒業式・修了式への支援
 卒業式・修了式（2018年3月23日（金））に祝い花を贈った。

2018年度事業計画と実施状況について

1. 理事会の開催

- 第19回：2018年6月20日（水）
 議題1. 2017年度事業報告について
 2. 2017年度決算について
 3. 2018年度事業計画について
 4. 2018年度予算について など

2. 運営委員会の開催

計2回開催（2018年5月10日（木）、10月30日（火））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会及び懇親交流会を開催した。
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換など
 日時：2018年7月28日（土） 15時～
 開催場所：東京ガーデンパレス（東京都文京区）
 参加者：85名

4. 会報の発行

会報第10号を発行する。

5. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を引き続き実施する。

6. 岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ

在学生を支援する基金として「岩手大学イーハトーヴ基金」が設立されたことから、ホームページ等で協力呼びかけを行う。

7. 卒業式・修了式への支援

卒業式・修了式に祝い花を贈る。

《2017年度 岩手大学同窓会連合 決算》

【収入の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	1,200,000	1,200,000	0	4同窓会×300,000円
前年度の繰越金	3,157,318	3,157,318	0	
一時金戻し入れ	65,000	65,000	0	懇談会会費おつり用一時金
その他収入	64	29	△35	利息
計	4,422,382	4,422,347	△35	

【支出の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	残 額	備考
事業費	1,591,000	1,522,405	68,595	①卒業生・修了生と学長との懇談会への協力 811,853（旅費、八方キ代、会場費等補助） ②会報の発行 429,552（印刷費） ③ガンダイニングの協賛費 162,000 ④卒業式・修了式への祝い花 54,000 ⑤懇談会会費おつり用一時金 65,000
会長活動経費	30,000	2,473	27,527	
会議費	6,000	3,405	2,595	（理事会用お茶代）
事務費	14,000	6,156	7,844	（振込手数料）
予備費	2,781,382	0	2,781,382	
計	4,422,382	1,534,439	2,887,943	

収入決算額－支出決算額＝繰越額 4,422,347－1,534,439＝2,887,908

卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）の開催

2018年7月28日（土）、東京都文京区の東京ガーデンパレスを会場に「卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）」が開催されました。この懇談会は、2008年度から毎年実施されており、今回は同窓生62名の参加がありました。

懇談会では、岩淵明学長及び渡邊喬同窓会連合会長からの挨拶に続き、小川智理事・副学長から大学の現状と主な取組について説明し、各学部長からは学部改組や主な取組の状況等について説明がありました。続く質疑応答・意見交換では、近年の大学の取組や学生の状況等について、参加者から活発な意見や質問が寄せられました。

懇談会の最後には、各同窓会長から挨拶があり、最近の活動についての報告などがありました。

懇談会終了後に行われた懇親交流会では、学部年代にかかわらず、親睦を深め合い、最後は参加者全員で学生歌を歌い、盛会のうちに終了しました。

次の開催日、会場については決まり次第ホームページ（<http://alumni.iwate-u.ac.jp/>）に掲載いたします。

2019年度に、岩手大学では創立70周年記念事業として様々なイベントを開催予定です。詳細が分かり次第ホームページに掲載いたしますので卒業生・修了生のみならずぜひご参加ください。



懇談会の様子①



懇談会の様子②



七友会集合写真



懇親交流会の様子①



懇親交流会の様子②



北桐会集合写真



一祐会集合写真



北水会集合写真

ガンダイニングへの協賛について

岩手大学同窓会連合では、岩手大学の様々な活動やあまり知られていない魅力を卒業生や地域の皆様を知ってもらい、より親しまれる大学になれるよう岩手大学を応援するために、岩大を紹介するテレビ番組「ガンダイニング」の協賛を行っています。

この番組は、大学内の様々な取組や研究、学生の姿を紹介する番組で、今年で第14回を数えます。アシスタントナビゲーターを務めるお馴染みの岩手大学イメージキャラクター「がんちゃん」をはじめ、現役の岩手大学生がリポーターを務め、大学の“いま”を元気に伝えています。

リポーターの木村さん(左)と佐藤さん(右)



【2018年度放送日程】

●IBC岩手放送 ●2018年10月2日～12月25日 ●毎週火曜日 18:55～ ●計13回

※今年度放送した分については、以下のページからご覧いただけます。

■岩手大学ホームページ <https://www.iwate-u.ac.jp/about/public/gandaining.shtml>

■岩手大学公式Youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



HP



Youtube

七友会

人文社会科学部 同窓会

Shichiyukai

《活動報告》

今年度も現役学生に対する就職活動支援、同窓会会報『七友会だより』の発行、評議員会の開催と活動を進めてまいりました。

◆就職活動支援

人文社会科学部の学部生を対象として、2018年2月（第10回）と6月（第11回）に、「進路選択セミナー」が七友会・人文社会科学部就職委員会の共催により行われました。第10回講師は、社会人大学院生として博士号を取得した同窓生がつとめました。現在ひとは大学教員、もうひとは外資系会社の日本法人ディレクターということですが、大学卒業後の職業経歴、社会人大学院生として学びや職業経験と研究、学びの先にある仕事など、大学卒業後の様々な仕事と学びの変遷を意識させる内容でした。また第11回講師は、航空会社客室乗務員と和装店に勤務する同窓生がつとめました。進路を選ぶきっかけとなった大学での学び、就職活動の想像と現実、仕事の面白みと困難、転職を経てやりがいを見出している現在などを率直に語っていただき、先輩からの貴重なメッセージを学生に届けました。

◆会員への情報提供

同窓会会報『七友会だより』を2回、[第46号（3月）、第

47号（9月）] 発行しました。またインターネット上での情報提供手段として七友会の公式web「七友会.net」(<http://www.shichiyukai.net/>) が運営されています。岩手大学や同窓会のニュース、イベントの告知をはじめとして、同窓会に関する情報を提供しており、『七友会だより』も過去にさかのぼって閲覧することができます。

◆評議員会の開催

2018年度の評議員会は、岩手県公会堂15号室において、6月23日（土）に開催されました。事業の報告と計画、決算と予算、といった案件に加え、遠藤隆会長をはじめとする新体制について決定がなされました。



2018年度評議員会

一祐会

理工学部 同窓会

Ichiyukai

《活動報告》

2018年度一祐会定期総会は2018年5月26日（土）15時から、理工学部一祐会館大会議室において開催されました。2018、2019年度一祐会の役員が改選され、清水健司氏（岩手大学名誉教授）が一祐会会長に選任されました。23番目の支部として一祐会奥州支部（岩手県）の新設が承認されました。報告として、盛岡工業専門学校卒業生の一祐会会員の方から寄附金を賜り、後日寄附金の活用方法について検討した結果、一祐会会館の身障者用トイレ設置と会館内のエアコンを更新する予定となりました。あたたかいご支援に感謝申し上げます。総会后、理工学部食堂において懇親会が盛大に行われ、「鳥人間コンテスト」へ出場するデコレ（岩手大学鳥人間サークル）の報告もありました。

《学生会員支援》

一祐会学生会員支援事業として、定期総会と同日に一祐会



2018年度総会(懇親会)

主催で、岩手大学卒業生による「企業合同説明会（36企業）」を開催し、当日は延べ人数150名の学生参加があり、卒業生からは就職相談、会社説明など学生の質問に丁寧に答えていただき、将来



一祐会主催企業合同説明会

を考える学生にとって企業からの情報を得る有意義な機会となりました。一祐会盛岡支部においても2018年10月26日（金）に総会・講演会および岩手大学卒業生による企業説明会を開催いたしました。参加企業に御礼申し上げます。

《会員への情報提供》

2018年3月1日会誌「北杜」66号を発行しております。今年度から一祐会facebookを始めましたので会員皆様への情報発信に努めていきます。また、一祐会会館内での岩手大学卒業生が就職した企業のパンフレットの展示および会社ネームプレート展示を企画していますのでご協力のほどお願いいたします。

2019年度一祐会定期総会は2019年5月17日（金）に開催されます。

北桐会

教育学部 同窓会
Hokutoukai

同窓生の活躍と北桐会活動の紹介

◆同窓生の活躍

昨年度後半から今年度前半は、岩手大学教育学部卒業生の活躍がメディアを通じて多く届きました。2018年1月には、1977年中学校教員養成課程国語科を卒業された若竹千佐子さんが、小説「おらおらでひとりいぐも」で第158回芥川賞を受賞。またスポーツ界では2018年卒業の佐藤洸彬さん（日本スケート連盟強化選手）も2018年11月の「2018 NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」等に出場し活躍を続け、2015年卒業の高橋英輝さんも2018年2月「第101回日本陸上競技選手権大会20km競歩」で日本歴代2位の1時間17分26秒で4年連続4回目の優勝を果たしました。

◆第59回評議員会開催

第59回北桐会評議員会が、2018年6月17日（日）13時より盛岡市のホテルルイズで開催されました。来賓として遠藤孝夫教育学部長をお迎えし、岩手県内の6支部に加え、北海道、栃木、千葉、宮城仙北、津軽西北、近畿7支部の評議員の参加を得て、42名で協議されました。2018年度の事業計画、予算、役員改選等について協議の上了承されました。

◆新会長就任

上記評議員会において、黒川國児氏（甲一類体育科1966年卒）に代わって、新会長 小笠原義文氏（甲一類体育科1968年卒）が就任されました。小笠原氏は岩手県バレーボール協会会長、岩手大学名誉教授として長年にわたるバレーボール

をはじめとするスポーツ活動の研究・普及発展に寄与されています。今後も北桐会会長として豊かな経験と行動力を生かしたリーダーシップが期待されます。

◆北桐会の情報発信

北桐会は、同窓会報「北桐」を、毎年3月に発行しています。2018年は3月16日に北桐57（16頁）が、15000部発行されました。あわせて北桐会ホームページも更新し、新会長挨拶と同窓会報もインターネット上で閲覧できるようになっています。また、今年度は5年に1度の同窓会会員名簿の発行年にあたり、1020冊発行することができました。これからも北桐会の活動にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



岩手大学教育学部同窓会
北桐会会長 小笠原義文



北桐会ホームページ
<http://www.edu.iwate-u.ac.jp/hokutou/>



北水会

農学部 同窓会
Hokusuikai

《この一年 トピックス》

北水会のこの1年、会員皆様のご協力、ご支援により大過なくすごすことができました。近年、北水会に寄せる思い、理解が年々深まってきているように感じられ、喜んでいきます。母校の長い歴史の中、多くの諸先輩の足跡の賜物と思っています。

●宮澤賢治得業論文提出から100年記念特別企画

『宮澤賢治とカルテットへの誘い』の開催

宮澤賢治は大正7年（1918年）に得業論文（現卒業論文）を提出し、岩手大学農学部的前身である盛岡高等農林学校を卒業しました。2018年は賢治が得業論文を提出してから100年目の節目の年でした。

秋日和の好天に恵まれた10月20日、記念すべき特別企画『宮澤賢治とカルテットへの誘い』が農学部附属農業教育資料館2階講堂で催されました。創立当時のたたずまいを残す大講堂に学生、教職員そして一般市民など90人ほどが参集しました。

第1部の宮澤賢治得業論文解説は「宮澤賢治の得業論文を読む」と題し、農業教育資料館館長でもある応用生物化学科教授伊藤菊一氏（昭和61年農芸化学科卒、63年院修了）が講演されました。

「腐植質中の無機成分の植物に対する価値」と題する得業論文は、コロイド化学、無機化学、分析化学、土壌学、肥料学、植物栄養学など、当時の最新知見が盛り込まれており、

論理展開も明瞭で、現代科学の視点から見ても優れたものとのことでした。

会場には論文原典写しなど多くの関連資料も展示されました。

北水会が実施している「北水会長賞」（2006年創設）は、宮澤賢治の得業論文の精神を尊重しこれを顕彰する事業として、優秀な卒業論文に対して表彰を行っているものです。

第2部は宮澤賢治が愛したクラシック音楽にちなんで、「ラトゥール・カルテット」（「石神の丘美術館」のコンサートを機に結成）による弦楽四重奏のコンサートも催され、ドヴォルザーク作曲の「アメリカ」「新世界より」を楽しみました。

心地よい秋日和の午後、心満ちたひと時を過ごすことができました。



宮澤賢治氏の得業論文が含まれている
大正7年（1918年）
農学科第二部得業論文集
（岩手大学図書館収蔵）

岩手大学創立70周年記念事業のご案内

岩手大学は、1949年の創立以来、2019年に70周年を迎えます。その節目にあたり、これまでの足跡を振り返るとともに東日本大震災発生後の取組をとりまとめ、地域や世界に向けた発信、および未来への伝達を包括する、「読んで、見て、感じて、活かし伝えていく」岩手大学創立70周年記念事業を実施します。記念事業の詳細については、確定次第本学ホームページ (<https://www.iwate-u.ac.jp/>) に掲載しますので確認の上、記念式典等にぜひご参加くださいますようお願いいたします。

◆予定事業：復興活動記録誌の出版、岩手大学70周年記念誌の発行、岩手大学ミュージアム企画展、記念式典・講演会(2019年10月19日(土))、国際シンポジウム(2019年11月予定)

※岩手大学創立70周年記念事業募金へのご協力について

岩手大学創立70周年記念事業を進めるにあたり、教職員、学生の大学構成員をはじめ、同窓生や学生の保護者、産官民の多くの関係者の皆様より広くご支援を賜りたく、創立70周年記念事業募金を創設し、募金活動を行うことといたしました。この趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。

募金事業の詳細、申込・払込方法については、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

●お問い合わせ先

岩手大学財務部財務課財務総括グループ

TEL : 019-621-6024 E-mail : zsomu@iwate-u.ac.jp

(株)エイシングが「大学発ベンチャー表彰」で経済産業大臣賞受賞

2018年8月30日、株式会社エイシング(代表取締役社長：岩手大学工学研究科博士後期課程出澤純一さん)、岩手大学理工学部システム創生工学科 金天海准教授が大学発ベンチャー表彰にて経済産業大臣賞を受賞しました。本表彰は、大学等の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などが表彰されます。

株式会社エイシングは岩手大学発ベンチャーとして、2016年12月に設立されました。その後2017年6月にテックアクセラベンチャーズから約2億円の投資を受けて、製造業を中心とした人工知能技術の販売を行っています。



岩手大学イーハトーヴ基金のご案内

岩手大学は、多くの皆様からご協力いただいた「岩手大学学生支援基金」「岩手大学被災学生支援募金」等を引き継ぎ、「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成されます。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

【岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ】

<http://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

●お問い合わせ先

岩手大学総務部総務広報課

(平日：午前9時～午後5時)

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

TEL.019-621-6006

FAX.019-621-6014



岩手大学
イーハトーヴ基金

岩手大学公式ソーシャルメディア

岩手大学公式Facebook、YouTube、岩渕学長Twitterを更新中！岩手大学のニュース・イベント情報、ガンダイニングの動画や岩渕学長の日々の出来事をお知らせしています。ぜひ覗いてみてください。



公式Facebook

◆岩手大学公式Facebook

<https://www.facebook.com/iwate.u>

◆岩手大学公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



公式YouTube



岩渕学長Twitter

◆岩渕学長Twitter

https://twitter.com/iwate_u_ai2016